

Service News 【サービ・ニュース】

大人のボードゲーム部@日比谷図書文化館 第1回のメインゲームは「カタン」です

- 日時:2月20日(火)19:00~21:00(18:45開場)
(進行状況によっては延長の可能性があります)
- 会場:4階セミナールームA
- 定員:24名(事前申込制) ●参加費:無料 ●対象:高校生以上
- 申込方法:電話(03-3502-3343)、来館(2階図書総合カウンター)
いずれかにて、お名前と電話番号をお知らせください。

カタンとは? 現代ボードゲームの代表作である、5種類の資源(穀物、羊毛、木材、鉱石、煉瓦)を使って開拓地を広げ、豊かさを競い合うゲームです。当日の先着10名まで、「カタン」が遊べます。カタンに間に合わなかった方へ、他のボードゲームのご用意もあります。初心者大歓迎! 皆様のご参加をお待ちしています。

2月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン 「博物館っておもしろい!」(~5/18) **NEW!**
国内外の博物館や資料館の面白さ、奥深さを紹介する本や図録、パンフレットを集めました。展示方法や保存技術など、博物館学についても学べる展示です。近隣の博物館等を紹介するパネルもご用意しました。

3F グリーンゾーン 「読書 再考・再興・最高」(~2/23)
図書館に来られる方に最近本を読んでいるかと聞くのも野暮ですが、デジタル機器の普及で紙の本を読む時間が減ったという方もいるでしょう。岐路に立つ読書について考え直すために、図書館の分類法を越えて様々な視点から本を並べてみました。

3F ホール 「薪と読書」(~2/18) **NEW!**
特別展の、樹、森、読書のモチーフから「負薪読書図」を連想してみました。負薪読書図として描かれた二宮金次郎像の初出となった幸田露伴「二宮尊徳翁」(1892)の挿絵をはじめ、関連図書、実物の薪を展示。「ながら」について参加型ボードも用意しています。

「日本の近代化を支えたリーダーたちの海外渡航」 **NEW!**
-明治維新前後の海外派遣・海外留学- (ガラスケース、~2/18)
特別展が文化庁「新進芸術家海外研修制度」により海外へ派遣された経験をもつアーティストの成果発表の場であることになぞらえ、特別研究室所蔵資料から、明治維新前後に海外派遣されたリーダーたちの渡航資料を展示し、日本人の学びの有り様を伝えます。

From Chiyoda Public Library 【千代田区立図書館からのお知らせ】

千代田図書館企画展示
人気小説家がおすすめる20世紀日本の傑作小説
小説の面白さを知ってもらうため、傑作小説大全『冒険の森へ』(集英社)の編集委員で、作家の逢坂剛さん、大沢在昌さん、北方謙三さん、夢枕獏さんがおすすめる20世紀に日本で発表された小説を、パネルで紹介いたします。また、『冒険の森へ』収録作のほか、21世紀に発売された小説などをジャンル問わず展示し、貸し出します。

ZONE PICK UP! 3F ブルーゾーン 【アート・言語・文学】の本を集めたゾーン

自己表現 ~4/13(金)

芸術をはじめ、ビジネスの場でも自己表現は重要なポイントになります。そこで、様々な表現方法を知るための入門書や、作品集を中心に、他者とのコミュニケーションを図る場面で、思いを伝えるときのヒントになる図書を紹介しています。自己表現の可能性を広げてみませんか?



【特別展】DOMANI・明日展 PLUS X 日比谷図書文化館

3階 ブルーゾーン ~2/18(日)

藤本由紀夫 「図書館における四次元の読書」
特別展「DOMANI・明日展PLUS X 日比谷図書文化館」(~2/18)を1階特別展示室で開催中です。さらに3階ブルーゾーンでは藤本由紀夫氏をゲスト作家に迎え、実際の図書フロア、書架を使って作品を展示しています。一般の図書館を使用した展示は藤本氏にとっても、図書館としても初の試みです。文字を読む「読書」ととどまらない「四次元の読書」を体験してみてください。

2階 パープルゾーン(三角台) 「出展作家による選書」

特別展に出展している作家たちに影響を与えた本や、着想のきっかけとなった本、自身の作品集や著書も併せて展示、紹介しています。



開催概要 会期:2018年1月29日(月)~4月21日(土)
場所:千代田区立千代田図書館9階=展示ウォール

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

外国人が見た 幕末日本
—オイレンブルク遠征隊を中心に—

2018年は明治維新150年の節目の年にあたり、これを機会に内田嘉吉文庫に残されている、江戸時代の末期に日本にやってきた絵師たちが描いた図録、挿絵を紹介し、1859年、プロイセン(ドイツ北東部の王国)が修好通商条約締結のためにオイレンブルク伯爵を全権使節とする遠征隊を派遣しました。この「オイレンブルク遠征隊」は優秀な科学者や芸術家を参加させていて、彼らは日本研究において大きな貢献をしました。本展示では、オイレンブルク遠征隊の旅行記や絵画集を中心に紹介しています。それらの図版、挿絵から、外国人の目に映った幕末日本の姿をご覧ください。

開催中 ~3月31日(土) 入場無料

日本橋付近の東海道(W.ハイネ・A.ベルク画『オイレンブルク遠征図録』/1864-1873年)

- 展示図書 『オイレンブルク遠征図録』(W.ハイネ・A.ベルク画/1864-1873年)
『プロイセン東アジア探検隊報告書』(G.シュビース著/1864年)
『JAPAN』(W.ハイネ著/1880年)
『大君の都1・2』(オールコック著/1863年) など
- 開催概要 ■ 会期:開催中~3月31日(土)
※休館日:2月25日(日)、3月4日(日)~13日(火)、3月19日(月)
■ 開室時間:平日10:00~20:00、土曜10:00~18:00、日曜・祝日10:00~16:00
■ 会場:4階特別研究室 ■ 入場無料

関連講座 2/16(金) 【古書で紐解く近現代史セミナー第29回】
幕末日本の姿を今に残したオイレンブルク遠征隊 —その外交目的と成果—
■ 講師:福岡 万里子 (国立歴史民俗博物館准教授)
オイレンブルク遠征隊メンバー(『プロイセン東アジア探検隊報告書』グスタフ・シュビース著/1864年)

1850年代から1860年代にかけて日本にやってきた西洋の列強の遠征隊の中で誰も真先に思い浮かべるベリイ提督率いる遠征隊に比べて認知度は低いものの、お抱えの芸術家による優れた記録が今に伝わるオイレンブルク遠征隊の外交面の目的や成果について考察します。

■ 日時:2月16日(金)19:00~21:00(18:30開場)
■ 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
■ 定員:60名(事前申込順、定員になり次第締切)
■ 参加費:1000円(千代田区民・学生500円)
※千代田区民・学生の方は、住所が確認できるもの、学生証をご提示ください。
■ 申し込み方法:来館(1階受付)、電話(03-3502-3340)、Eメール(college@hibiyal.jp) いずれかにて①講座名、②お名前(ふりがな)、③電話番号をご連絡ください。

calendar 開館時間:平日10時~22時 ■ 土曜10時~19時 ■ 日祝10時~17時 ■ 休館日

2018年2月							2018年3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3					1	2	3
4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28				25	26	27	28	29	30	31

2・3月休館日のお知らせ

2月25日(日)
“東京マラソン2018”の開催に伴う交通規制のため、休館日を変更いたします。休館予定日の2月19日(第3月曜日)は全館開館します。

3月4日(日)~3月13日(火)
システムリプレイスのため、期間中は千代田区立図書館は全館休館となります。休館中は貸出施設の予約・利用、及び各種Webサービスはご利用になれません。

3月19日(月) 全館休館日(第3月曜日)
ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

2・3月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

2/3 (土) 第3回 バリアフリー映画会 『僕らのごはんは明日で待ってる』

俳優の動作や表情を言葉で説明する「音声ガイド」と日本語字幕のついた、視覚や聴覚に障害のある方も高齢者もみんなと一緒に楽しめるバリアフリー映画を上映します。上映作品は瀬尾まいこ原作、市井昌秀監督の『僕らのごはんは明日で待ってる』(2017年)。※どなたでもご参加頂けます。(協力:住友商事)



■日時:2月3日(土)14:00~16:00(13:30開場)
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員:200名 ■参加費:無料
※手話通訳、車椅子スペースをご希望の方は、申込時にお申し出ください。

2/9 (金) 霞ヶ関の煉瓦造庁舎建築と煉瓦のはなし

講師:長谷川 直司(国土交通省 国土技術政策総合研究所 住宅研究部長)

明治に竣工した霞ヶ関の煉瓦造庁舎建築。現在も残る法務省赤れんが棟の紹介を中心に、日比谷公園も巻き込んで配置が計画された煉瓦造庁舎建築について、また、日本における煉瓦造建築の技術の導入経緯やその後の展開について解説します。(企画・協力:NPO法人 建築から社会に貢献する会)



■日時:2月9日(金)19:00~20:45(18:30開場)
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員:200名
■参加費:1000円(千代田区民500円)

2/11 (日) ピースビレッジ第60回 国連平和の鐘の物語 ~父から託された世界平和の祈り~

講師:高瀬 聖子(一般社団法人国連平和の鐘を守る会 代表)

中川千代治という一人の日本人男性の切なる思いと行動から誕生したニューヨーク国連本部の日本の平和の鐘。「二度と戦争をしてはいけない」と訴え続けた父の遺志を受け活動続ける、氏の6女である高瀬氏が若い世代に向けてその思いを伝えます。(主催:NPO法人世界連邦21世紀フォーラム、共催:日比谷図書文化館)



■日時:2月11日(日)14:00~16:30(13:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
■定員:60名 ■参加費:3000円

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

2/15 (木) 千代田区内ミュージアム連携 江戸歴史講座 第50回 錦絵が語る幕末明治 -展示資料を中心に-

講師:岩間 一樹(衆議院憲政記念館「特別企画展示」企画担当)

明治維新から150年となる2018年。憲政記念館で現在開催中の特別企画展示「幕末明治からのメッセージ-激動の時代を彩った人々-」(シリーズII)において紹介している戊辰戦争から帝国議会開設までの錦絵とともに、時代背景をたどりながら、幕末明治期の政治や世相を俯瞰します。



■日時:2月15日(木)19:00~20:30(18:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
■定員:60名 ■参加費:500円

2/21 (水) 星とめぐる時間旅行 星のおわり ~星の寿命とその後

講師:皆川 敏春(星のソムリエ@みたか)、福原 菜穂子(星のソムリエ@みたか)

人の寿命と同じように星にも一生があり、いずれ寿命を終えるときがきます。その時いったい何が起るのでしょうか。星の寿命(死)は私たちに何か影響を及ぼすのでしょうか?夜空に瞬く星に思いを馳せながら星の運命についてお話します。



皆川敏春氏 撮影

■日時:2月21日(水)19:00~21:00(18:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:1000円

2/27 (火) リーダーに学ぶ 自分を動かす5つの発想

講師:佐々木 かをり(株式会社イー・ウーマン代表取締役社長)

2児の母で2社の経営者、企業の社外役員や政府委員も多数務め、独自の時間管理術を盛り込んだ手帳をプロデュース、時間管理法に関する著書や講座でも知られている佐々木かをり氏から、自分を前へ動かしていくための考え方や実践法についてお話しいたします。(主催:公益財団法人上廣倫理財団 共催:日比谷図書文化館)



■日時:2月27日(火)19:00~20:30(18:30開場)
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員:200名 ■参加費:500円(千代田区民・学生無料) ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

2/28 (水) ポピュリズムの世紀なのか -現代政治の変容を読み解く-

講師:水島 治郎(千葉大学法政経学部教授)

2016年のイギリスの国民投票によるEU離脱派勝利、トランプのアメリカ大統領選挙の勝利、フランスの大統領選挙におけるルベンの決選投票進出など、各国でポピュリズムとよばれる政治の動きが強まっています。本講座では、「中抜き政治の出現」という観点を用いつつ、メディアの役割に注目して現代政治の変容を解説します。



■日時:2月28日(水)19:00~20:30(18:30開場)
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員:200名 ■参加費:1000円

3/16 (金) 千代田区民講座 EU最新情勢と国際社会における芸術文化活動の役割

講師:古木 修治(EU・ジャパンフェスト日本委員会事務局長)

イギリスの離脱宣言、各国で相次ぐテロ、移民の問題など、さまざまな課題を抱えるEU(欧州連合)の動向に世界中が注目しています。その最新情勢と、日欧の架け橋となって25年に及ぶEU・ジャパンフェスト日本委員会の活動について詳しくお話します。(主催:NPO法人 神田雑学大学、共催:日比谷図書文化館)

■日時:3月16日(金)19:00~20:30(18:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:無料
※2月1日(木)から千代田区民受付開始。区民以外は2月8日(木)から受付開始。

3/17 (土) ピースビレッジ第61回 世界がワクワクするまちづくり

講師:黒田 哲二(UDS株式会社 戦略プロジェクト室 執行役員)

「デザイン」「事業性」「社会性」のバランスをとりながら、コミュニティを通して、いかにしてまちづくりに貢献するかをテーマに企画・設計・運営一体で取り組んできた講師に、これからのまちづくりについてお話しいたします。(主催:NPO法人 世界連邦21世紀フォーラム 共催:日比谷図書文化館)



■日時:3月17日(土)14:00~16:30(13:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:3000円

3/22 (木) TOKYO 2020を支える人たち-1 トップアスリートを支えるスポーツ科学

講師:窪 康之(国立スポーツ科学センタースポーツ科学部副主任研究員)

世界で戦うトップアスリートは、心と身体に限界を突き破るため、想像を絶するレベルのトレーニングに毎日励んでいます。そのようなアスリートに対し、スポーツ科学はどのような手助けができるのか。様々なスポーツの日本代表チームに対して行われてきた科学的支援の一端をご紹介します。



■日時:3月22日(木)14:00~15:30(13:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:500円(中学生以上の学生無料) ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

3/26 (月) 三菱一号館美術館×日比谷図書文化館 展覧会への入口講座Vol.23 ルドンの植物譜~知られざる画家、謎の男爵、秘蔵の名画~

講師:安井 裕雄(三菱一号館美術館 学芸グループ 副グループ長)

《グラン・ブーケ(大きな花束)》(三菱一号館美術館蔵)はフランスのブルゴーニュ地方ヴェズレー近郊のシャトーに秘蔵されていた、幻の大作でした。2011年にパリで初めて公開された時、現在オルセー美術館が所蔵する15点の装飾画とともに展示されると、大きな反響を巻き起こしました。三菱一号館美術館内に久しぶりに勢ぞろいする一連の装飾画は、ドムシー男爵が注文したのですが、男爵は謎が多く、肖像写真すらも見つかっていません。「ルドン - 秘密の花園」展出品作と描いた画家、そして注文主の謎に迫ります。



《グラン・ブーケ(大きな花束)》
1901年、248.3cm×162.9cm
パステル/画布
三菱一号館美術館蔵

■日時:3月26日(月)19:00~20:30(18:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
■定員:60名 ■参加費:1000円(千代田区民500円)

ボモータ広報室より

受験シーズンとなり、館内では受験生の姿を多く見かけるようになりました。本が貴重な時代、本を読み知識を得られる図書館は貴重な場所でした。日比谷図書文化館の前身、都立日比谷図書館は東京の公共図書館の中心的存在で図書館に入るために長蛇の列が出来ていたそうです。来館者の中には「昔、ここで良く

3/28 (水) 他 境界を超えるクラシック -新天地を求めた作曲家たちのエナジー(全2回)~「ラ・フォル・ジュルネTOKYO 2018」を前に~

講師:飯田 有抄(クラシック音楽ファシリテーター、ライター)

時代の流れや揺れ動く社会情勢の中、住み慣れた土地を離れ新天地での活動を決意した作曲家たちがいます。彼らは何を思い、作品にどんなエナジーを込めたのでしょうか。彼らの創作活動を紹介しながら「新しい世界へ」という音楽祭のテーマに迫ります。(協力:東京国際フォーラム、ラックスマン、フォステクス、ナクソス・ジャパン)



■日時:第1回 3月28日(水)19:00~20:30(18:30開場) 「作曲家はなぜ新天地を求めたのか」
第2回 4月4日(水)19:00~20:30(18:30開場) 「境界を超えた作曲家たちのドラマ」

■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員:各回200名 ■参加費:各回500円

【特別展】DOMANI・明日展 PLUS×日比谷図書文化館 本という樹、図書館という森 Artists meet Books

▶2月18日(日)まで

特別展「本という樹、図書館という森」の会期が残りわずかになりました。本展覧会は、文化庁「新進芸術家研修制度」で海外に滞在した6名とゲスト作家1名による、絵画、インスタレーション、アニメーションといった様々なジャンルの「本・読書・図書館」へのアプローチを紹介する、初めての現代美術展です。また、ゲスト作家・藤本由紀夫を迎え、展示室の外一図書フロアでの展示も行なっています。図書館でのアートとの新しい出会いを、ぜひ体験してください。



蓮沼昌宏【土地の見る夢12編のアニメーション】
2015年【参考図版】

- 会期:開催中~2018年2月18日(日)
- 観覧時間:平日10:00~20:00、土曜10:00~19:00、日祝10:00~17:00(入室は閉室の30分前まで)
- 会場:日比谷図書文化館1階特別展示室
- 観覧料:一般300円、大学・高校生200円
- 千代田区民・中学生以下、障害者手帳・指定難病受給者証をお持ちの方および付き添いの方1名は無料 ※住所が確認できるもの、学生証、障害者手帳をお持ちください。
- 主催:文化庁、千代田区立日比谷図書文化館
- 協力:アート・ベンチャー・オフィスショウ

LIBRARY SHOP & CAFÉ HIBIYA

カフェは大きな窓のある開放的な空間が魅力です。静かな冬景色を眺めながら、温かい飲み物やケーキで一息ついてはいかがでしょう? 新しいアイデアも湧いてくるかも知れません。また、ショップではこの時期、勉強やビジネスに役立つオシャレな筆記用具類やノートも多数用意しております。ぜひ、お立ち寄り下さい。

